

平成15年10月 2日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

平成15年度日韓共同理工系学部留学生事業(第4期生)に係る開講式の実施について

このことについて、下記のとおり実施しますので、ご案内いたします。

記

日時 平成15年10月8日(水)15時00分～

場所 広島大学 教育学部 第3・第4会議室

- 式次第
1. 開式の辞
 2. 「広島大学 日韓理工系学部留学生事業」実施部会長 挨拶
 3. 駐広島大韓民国総領事館 総領事挨拶
 4. 留学生センター長 挨拶
 5. 学部入学前予備教育生挨拶
 6. 閉式の辞

予備教育生氏名	性別	専門教育
Han Myung Seok (ハン ミヨン ソク)	男	工学部
Shin Sang Mook (シン サン ムク)	男	〃
Chung Seung Hwa (チョン スン ファ)	男	〃
Kang Myeong Jin (カン ミヨン ジン)	女	〃
Park Joing In (パク チョン イン)	女	理学部

【お問い合わせ先】

広島大学 学生部 留学生課
留学生係長 近藤博明
TEL: (0824) 24-6184

[発信枚数: A4版 2枚(本票含む)]

[「日韓理工系学部留学生事業」経緯](#)

(「日韓理工系学部留学生事業」経緯) :

- (1) 1998年(平成10年)10月に、日韓両国首脳(小渕首脳(当時)、金 大中大統領)により発表された日韓共同宣言「21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ」及び同附属書において政府間の留学生や青少年の交流プログラムの充実を提言。
- (2) 2000年(平成12年)3月に、中曽根文部大臣が戦後初めて文部大臣として韓国を訪問し、文(ムン)韓国教育部長官と会談を行い、日韓共同宣言に基づく新たな留学生事業として、日本の大学の理工系学部在韩国人留学生1000人を受入れる(100名で開始し、平成22年度を目途に1000名)ことを表明。
- (3) 第1期生となる100名は、平成12年3月から8月まで韓国内で前半期の予備教育を修了し、同年8月に実施された大学配置試験の結果により、日本の国立大学(23大学)に配置され、同年10月に渡日し、平成13年3月までの6ヶ月間は後半期の予備教育を受講、平成13年4月からは学部教育を受けている。
- (4) 第2期生となる120人は、平成12年9月に韓国側主催による第1次選抜試験、同年11月に日韓共同による第2次選抜試験を終了し、韓国内で前半期の予備教育が開始(3月2日～)され、平成13年8月に実施された大学配置試験の結果により、日本の国立大学に配置され、平成13年10月に渡日し、平成14年3月までの6ヶ月間は後半期の予備教育を受講、平成14年4月からは学部教育を受ける。
- (5) 第3期生となる90人は、平成13年8月に韓国側主催による第1次選抜試験、同年10月に日韓合同による第2次試験を終了し、韓国内で前半期の予備教育が開始(3月～)され、平成14年8月に実施された大学配置試験の結果により、日本の国立大学に配置され、平成14年10月に渡日し、平成15年3月までの6ヶ月間は後半期の予備教育を受講、平成15年4月からは学部教育を受ける。
- (6) 第4期生となる122人は、平成14年8月に韓国側による第1次推薦、同年10月に文部科学省実施による第2次選抜、同年11月に日韓合同の面接試験による第3次選抜を経て、同年12月に配置大学が決定した。平成15年3月から9月までの半年間は韓国内で前半期の予備教育が行われ、平成15年10月に渡日し、平成16年3月までの6ヶ月間は後半期の予備教育を受講、平成16年4月からは学部教育を受ける。